

1. リソース提供メニュー

| カテゴリ | 名称 | サービスコード | サービス名 | 内容 | 課金単位 | 注意事項 |
|----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|------------|---|
| ユーザ利用環境 | HMCポータル | H-UR01001 | HMCポータル | 契約単位毎にHMCアカウントを発行 | - | ■HMCを利用する場合に必要です |
| | テナント | H-UR01002 | テナント | 窓口サービスの設置(メール) 契約単位毎に仮想ユーザ環境へのアカウントを発行 ・標準物理ポート(標準の1Gbps正副1系統の提供)の利用 ・VLANの利用 | - | ■運用時のUSIZEクラウド基盤の受付窓口サービスです。 ■電話受付を行う場合は個別見積り致します。 ■物理ポートはVLANタグ対応です。 ■1契約につき、標準物理ポートを1ポートと追加で3ポート(有償)の合計4ポートまで利用可能です。それ以上ご利用される場合は個別相談となります。 ■1契約につき、VLANを4つまで払い出し可能です。それ以上ご利用される場合は個別相談となります。 |
| 仮想マシン提供サービス | 仮想マシン | H-VM01101 | 仮想マシン(サーバ共有)提供 (Type1) | CPU:1core/Memory:2GB/仮想NIC | 仮想マシン毎 | ■仮想NICの提供は仮想マシンあたり、最大4つまで利用可能です。それ以上ご利用される場合は個別相談となります。 |
| | | H-VM01102 | 仮想マシン(サーバ共有)提供 (Type2) | CPU:2core/Memory:4GB/仮想NIC | 仮想マシン毎 | ■CPU、メモリの左記以外の組合せが必要な場合はTYPEカスタマイズテーブルを参照ください。 |
| | | H-VM01103 | 仮想マシン(サーバ共有)提供 (Type4) | CPU:4core/Memory:8GB/仮想NIC | 仮想マシン毎 | |
| | | H-VM01104 | 仮想マシン(サーバ共有)提供 (Type8) | CPU:8core/Memory:16GB/仮想NIC | 仮想マシン毎 | |
| | | H-VM01105 | 仮想マシンTypeカスタマイズ | CPU:1 ~ 28core/Memory:1GB ~ 120GBの範囲でカスタマイズ可能 | 仮想マシン毎 | ■選択不可の組み合わせもありますのでカスタマイズテーブルを参照してください。 ■仮想NICの提供は仮想マシンあたり、最大4つまで利用可能です。それ以上ご利用される場合は個別相談となります。 |
| | サーバ専用環境 D2 (Large) | H-VM01208 | サーバ専用環境 D2基本(定額料金) | 物理サーバ(プロセッサ:2P/28Core、メモリ256GB、冗長構成)を専有。本サービスの定額料金で、18仮想マシン、メモリ96GBまで利用可能。これを超過して利用する場合、仮想マシン数の超過費用、メモリ利用量の超過費用が発生 | 専有サーバ台数 | ■専有サーバの台数はお客様に指定可能です。 ■オーバーコミットは可能です。ただしメモリオーバーコミットは非推奨で、ESXiの稼働領域を確保した240GBまでの利用を推奨、CPUは2倍が標準構成です。 ■冗長構成(VmwareHA)分の物理サーバリソースの他、利用に必要なVmwareライセンス、基盤運用等を含みます。 ■仮想マシン用OSライセンスは別途必要です |
| | | H-VM01209 | サーバ専用オプションD2(仮想マシン数の超過費用) | 18仮想マシンを超える仮想マシン数に関して追加 | 仮想マシン毎 | |
| | | H-VM01210 | サーバ専用オプションD2(メモリ利用量の超過費用) | 96GBを超えるメモリ利用について1GB毎に追加 | 1GB | |
| | サーバ専用環境 D3 (Small) | H-VM01211 | サーバ専用環境 D3基本(定額料金) | 物理サーバ(プロセッサ:1P/4Core、メモリ128GB、冗長構成)を専有。本サービスの定額料金で、4仮想マシン、メモリ96GBまで利用可能。これを超過して利用する場合、仮想マシン数の超過費用、メモリ利用量の超過費用が発生 | 専有サーバ台数 | ■専有サーバの台数はお客様に指定可能です。 ■オーバーコミットは可能です。ただしメモリオーバーコミットは非推奨で、ESXiの稼働領域を確保した120GBまでの利用を推奨、CPUは2倍が標準構成です。 ■冗長構成(VmwareHA)分の物理サーバリソースの他、利用に必要なVmwareライセンス、基盤運用等を含みます。 ■仮想マシン用OSライセンスは別途必要です |
| | | H-VM01212 | サーバ専用オプションD3(仮想マシン数の超過費用) | 4仮想マシンを超える仮想マシン数に関して追加 | 仮想マシン毎 | |
| | | H-VM01213 | サーバ専用オプションD3(メモリ利用量の超過費用) | 96GBを超えるメモリ利用について1GB毎に追加 | 1GB | |
| | サーバ専用環境 D4 (Medium) | [New] H-VM01214 | サーバ専用環境 D4基本(定額料金) | 物理サーバ(プロセッサ:1P/14Core、メモリ128GB、冗長構成)を専有。本サービスの定額料金で、12仮想マシン、メモリ48GBまで利用可能。これを超過して利用する場合、仮想マシン数の超過費用、メモリ利用量の超過費用が発生 | 専有サーバ台数 | ■専有サーバの台数はお客様に指定可能です。 ■オーバーコミットは可能です。ただしメモリオーバーコミットは非推奨で、ESXiの稼働領域を確保した120GBまでの利用を推奨、CPUは2倍が標準構成です。 ■冗長構成(VmwareHA)分の物理サーバリソースの他、利用に必要なVmwareライセンス、基盤運用等を含みます。 ■仮想マシン用OSライセンスは別途必要です ■提供開始は千葉DCでは2017年10月を予定しています。先行予約および三田DCでのご利用はご相談ください。 |
| [New] H-VM01215 | | サーバ専用オプションD4(仮想マシン数の超過費用) | 12仮想マシンを超える仮想マシン数に関して追加 | 仮想マシン毎 | | |
| [New] H-VM01216 | | サーバ専用オプションD4(メモリ利用量の超過費用) | 48GBを超えるメモリ利用について1GB毎に追加 | 1GB | | |
| 従量制オペレーティングシステムライセンス | Redhat Enterprise Linux for USIZE | S-OS01001 | Redhat Enterprise Linux for USIZE | Redhat Linuxの従量制ライセンス提供 up to 4 (vCPU 1~4) 最低利用 1か月 | 仮想マシン毎 | ■当社リポジトリサーバへの登録が必要です。 ■RHEL5/6/7が利用可能です。(2016.9時点) ■為替変動等により予告なく単価改定をさせていただく場合があります。 |
| | | S-OS01004 | Redhat Enterprise Linux for USIZE | Redhat Linuxの従量制ライセンス提供 up to 5 (vCPU 5~) 最低利用 1か月 | 仮想マシン毎 | |
| | | S-OS01010 | Redhat Extended Lifecycle Support(ELS) small | Redhat ver5.11の延長サポートサービス S-OS01001にアドオンしてサポートを延長する | 仮想マシン毎 | ■USIZE環境でRedHat5.Xを延長サポートする場合に利用。ただし、RedHat4以下については未対応。 |
| | | S-OS01011 | Redhat Extended Lifecycle Support(ELS) Large | Redhat ver5.11の延長サポートサービス S-OS01004にアドオンしてサポートを延長する | 仮想マシン毎 | ■仮想マシンのOSはRedHat 5.11にアップグレードが必要(アップグレード作業はお客にて実施) |
| | Microsoft Windows Server | S-OS02001 | Microsoft Windows Server Windows Server 2012まで対応 | Windowsサーバの従量制ライセンス提供(SPLAによる提供) 最低利用 1か月 Windows2008 / 2008 R2 / 2012 / 2012 R2 のStandard EditionおよびDatacenter Editionを提供 | 仮想マシン毎 | ■サーバ共有用 SPLAライセンス(月額) ■顧客ライセンスは持込不可 ■為替変動等により予告なく単価改定をさせていただく場合があります。 ■16coreまでの共有サーバに適用可能 ■2019年5月まで利用可能です。Microsoft社のライセンス規約変更のため、2019年6月以降は利用できません。S-OS02002をご利用ください |
| | | S-OS02002 | Microsoft Windows Server Coreライセンス(Windows Server 2016まで対応) | Windowsサーバの従量制ライセンス提供(SPLAによる提供) 最低利用 1か月 Windows Server 2016までのDatacenter Editionを提供 | 仮想Core毎 | ■サーバ共有用 SPLAライセンス(月額) ■顧客ライセンスは持込不可 ■為替変動等により予告なく単価改定をさせていただく場合があります。 |
| | | [update] S-OS02010 | Microsoft Windows Server 専有サーバ用 SPLAライセンス Aタイプ(月額) | 専有サーバ環境向けWindowsサーバの従量制ライセンス提供(SPLAによる提供) 最低利用 1か月 Windows Server 2016までの Datacenter Editionを提供 | 物理サーバ毎 | ■専有サーバ環境(D1, D3, D4)上にWindows仮想マシンを物理的な制限まで構成可能 ■サーバ専用では顧客ライセンス持込も対応可 ■為替変動等により予告なく単価改定をさせていただく場合があります。 |
| | | [update] S-OS02011 | Microsoft Windows Server 専有サーバ用 SPLAライセンス Bタイプ(月額) | 専有サーバ環境向けWindowsサーバの従量制ライセンス提供(SPLAによる提供) 最低利用 1か月 Windows Server 2016までの Datacenter Editionを提供 | 物理サーバ毎 | ■専有サーバ環境(D2)上にWindows仮想マシンを物理的な制限まで構成可能 ■サーバ専用では顧客ライセンス持込も対応可 ■為替変動等により予告なく単価改定をさせていただく場合があります。 |
| 仮想ストレージ提供サービス | 仮想ストレージ | H-VM02101 | 本番領域の仮想ストレージ提供(Standard) | 本番領域の提供。ディスクI/O処理数の制限なし。RAID共有(ディスクドライブ共有) | 10GB | ■OS起動ドライブとして利用 ■最大2000GB |
| | | H-VM02102 | 本番領域の仮想ストレージ提供(Low) | 本番領域の提供。ディスクI/O処理数の制限あり。RAID共有(ディスクドライブ共有) | 10GB | ■低速OS起動ドライブ、データ保管用ドライブとして利用 ■最大2000GB |
| | バックアップ領域ストレージ | H-VM02201 | スナップショットバックアップ領域の仮想ストレージ提供(Standard) | 本番領域(Standard)に対するスナップショットバックアップ領域の提供。RAID共有(ディスクドライブ共有) | 本番10GBの1世代 | ■提供単位は、本番領域10GBを1世代、スナップショットバックアップするための領域です。 |
| | | H-VM02202 | スナップショットバックアップ領域の仮想ストレージ提供(Low) | 本番領域(Low)に対するスナップショットバックアップ領域の提供。RAID共有(ディスクドライブ共有) | 本番10GBの1世代 | |
| | | H-VM02301 | 物理コピーバックアップ領域の仮想ストレージ提供(Standard) | 本番領域(Standard)に対する物理コピーバックアップ領域の提供。RAID共有(ディスクドライブ共有) | 本番10GBの1世代 | ■提供単位は、本番領域10GBを1世代、物理コピーするための領域です。 |
| | | H-VM02302 | 物理コピーバックアップ領域の仮想ストレージ提供(Low) | 本番領域(Low)に対する物理コピーバックアップ領域の提供。RAID共有(ディスクドライブ共有) | 本番10GBの1世代 | |
| ネットワーク環境提供サービス | 物理ポート | H-VM03102 | 追加物理ポート | 標準のポート提供に加え、1Gbps正副回線を追加提供 | 追加物理ポート毎 | ■物理ポート毎にVLAN設定を行います |
| | 仮想負分散装置 | H-VN01101 | 仮想負分散装置 SimpleLB10 | ソフトウェアロードバランサ スループット10Mbpsライセンス | 負分散装置毎 | ■SSL非対応、圧縮非対応 ■1core 2GBmemory 30GBdiskの仮想マシンスペックでご提供します。 |
| | | H-VN01102 | 仮想負分散装置 SimpleLB60 | ソフトウェアロードバランサ スループット60Mbpsライセンス | 負分散装置毎 | |
| | | H-VN01103 | 仮想負分散装置 SimpleLB100 | ソフトウェアロードバランサ スループット100Mbpsライセンス | 負分散装置毎 | |
| | | H-VN01201 | 仮想負分散装置 LB100 | ソフトウェアロードバランサ スループット100Mbpsライセンス | 負分散装置毎 | ■レイヤ7、SSL、圧縮、ログ収集等対応 ■メールでのQ&Aが可能です。 ■2core 2GBmemory 30GBdiskの仮想マシンスペックでご提供します。 |
| | | H-VN01202 | 仮想負分散装置 LB300 | ソフトウェアロードバランサ スループット300Mbpsライセンス | 負分散装置毎 | |
| | | H-VN01203 | 仮想負分散装置 LB500 | ソフトウェアロードバランサ スループット500Mbpsライセンス | 負分散装置毎 | |
| H-VN01204 | 仮想負分散装置 LB1000 | ソフトウェアロードバランサ スループット1000Mbpsライセンス | 負分散装置毎 | | | |
| 監視サービス | 監視 | M-EE02101 | 監視/メール通報 | 監視項目(詳細は別紙)に対する閾値設定および閾値超時のアラートメール送出(予め登録された連絡先へのメール通報、24H対応) | 追加監視項目毎 | ■仮想マシンには監視カテゴリに対して5件までは標準監視として無料で利用可能です。5件を超える場合は左記の追加が必要です。 ※監視項目の詳細は依頼作業を参照 ■個別の運用監視サービス等をご希望の方は監視・通報個別対応オプションをご利用ください。 |
| | 通報先追加 | M-EE02102 | 追加メール通報先 | 通報先メールアドレスの追加(1宛先あたり) | 追加アドレス毎 | ■全体で最大10アドレスまでです。 |

2. 標準依頼作業メニュー

※注意：依頼作業はUSIZE受付窓口にてメールで依頼してください。ただし、事前に登録した社内メールアドレスからの受付のみとなります。お客様向け運用サービスが必要な場合は、3. オプションサービスメニューのSM部が提供する運用サービスをご利用ください。下記、作業費用は営業日中対応の場合です。休日および夜間については、追加費用が発生します。

| (1) ユーザ利用環境 設定作業 | サービス コード | サービス名 | 内容 | 課金単位 | 注意事項 |
|---------------------|-------------|-------------|-----------------------------|---------|--|
| HMCサービス | M-WI01101 | HMC利用IDの発行 | | HMC ID毎 | |
| | M-WI01102 | HMC利用IDの変更 | | HMC ID毎 | |
| | M-WI01103 | HMC利用IDの削除 | | HMC ID毎 | |
| | M-WI01201 | 運用状況可視化ポータル | | HMC ID毎 | |
| テナント | M-WO2010 | テナントの作成 | ユーザ環境の初期設定、アカウント発行、ネットワーク設定 | 契約単位 | ■顧客ID、プレフィックスを新規発行（並行して取得可能） 初期NW設定（標準物理ポートおよび追加物理ポート、VLAN） |
| | M-WO2011 | テナント解約 | ユーザ利用環境の削除 | 契約単位 | ■物理ポート、VLANも削除されます。 |
| | M-WO2012 | 専有環境の作成/削除 | ユーザが専有利用できる専有環境の作成または削除 | 契約単位 | ■専有環境の設定を行います |

| (2) リソース設定変更 ・オペレーション作業 | サービス コード | サービス名 | 内容 | 課金単位 | 注意事項 | |
|----------------------------|------------------------|------------------------------|---|--------------------------|--|---|
| 仮想マシン関連の 依頼対応サービス | H-SR01002 | 仮想マシンの追加 | 仮想マシンの追加（仮想NIC設定、ストレージボリューム追加（本番領域）、OS導入） | 仮想マシン毎 | ■OS、ネットワーク等の指定を併せてしてください。 ■付随オプションの指定を併せてしてください。（WSUS、RHUI） ■TrendMicroについては別途agile申請が必要 | |
| | H-SR01003 | 仮想マシンの削除 | 該当仮想マシンの削除 | 仮想マシン毎 | ■該当仮想マシンをベースに構成されるOS、付随オプションは自動的に削除されます。 ■データ消去が必要な場合は、データ消去サービスをご利用ください。 | |
| | H-SR01004 | 仮想マシンのクラス変更 | 該当仮想マシンのクラス変更 | 仮想マシン毎 | ■月あたりの無料の対応回数は、仮想マシンあたり1回です。それを越えた場合は上限越えサービスでの対応となります。 | |
| | H-SR01005 | 仮想マシンのクラス変更（上限越え） | | 仮想マシン毎 | | |
| | H-SR01008 | 仮想マシン停止/起動 | 該当仮想マシンの起動/停止/再起動 | 仮想マシン毎 | ■月あたりの無料の対応回数は、仮想マシンあたり1回です。それを越えた場合は上限越えサービスでの対応となります。 | |
| | H-SR01009 | 仮想マシン停止/起動（上限越え） | | 仮想マシン毎 | | |
| | H-SR01010 | CD/DVD-ROMマウント | 利用者から提供を受けた外部メディアのマウント | 仮想マシン毎 | ■月あたりの無料の対応回数は、前月度末の仮想マシン数です。それを越えた場合は上限越えサービスでの対応となります。 | |
| | H-SR01011 | CD/DVD-ROMマウント（上限越え） | | 仮想マシン毎 | | |
| | H-SR01012 | 専有環境のリソース平準化 | お客様の専有環境のリソースの平準化（異なる専有環境間の仮想マシンの移動）を行います | 仮想マシン毎 | ■専有サーバ環境を複数利用されている場合で、専有環境間でリソース利用の平準化を行います ■移動先の専有サーバ環境に移動対象の仮想マシンを受け入れるためのリソースが必要です | |
| | H-SR01013 | 仮想マシンの専有化/共有化 | 仮想マシンの稼働する環境を、共有環境または専有環境に変更します | 仮想マシン毎 | ■専有サーバ環境 → 共有サーバ環境 ■共有サーバ環境 → 専有サーバ環境 ■新規に専有環境を作る場合は、M-WO2012 専有環境の作成 を合わせて依頼してください ■移動先の専有サーバ環境に移動対象の仮想マシンを受け入れるためのリソースが必要です | |
| | H-SR01014 | 仮想マシンの複製 | 仮想マシンの複製および仮想マシンのバックアップからの複製（異なるサーバ環境へのリストア） | 仮想マシン毎 | ■仮想マシンからのクローン作成 ■バックアップ（物理）からのクローン作成 ■仮想マシンの複製時には、対象仮想マシンは停止している必要があります ■対象仮想マシンのストレージ容量が多い等の場合には別途費用が掛かることがあります。 | |
| | [New] H-SR01020 | OVFインポート | OVF形式の仮想マシンのインポート作業 | 仮想マシン毎 (1ボリューム) | ■OVF形式のファイルをインポートします ■USIZE仕様書に記載のCPU、メモリ、Diskサイズに合わせてご利用ください ■VMwareToolsはインストールさせていただきます ■その他、制限事項等は「4. 補足事項」をご覧ください | |
| | 仮想ストレージ関連の 依頼対応サービス | H-SR02001 | ストレージボリュームの追加 | 既設仮想マシンに新たにストレージボリュームを追加 | ストレージ ボリューム毎 | ■月あたりの無料の対応回数は、仮想マシンあたり1回です。それを越えた場合は上限越えサービスでの対応となります。 ■Standard/Lowストレージが対象です。 |
| | | H-SR02002 | ストレージボリュームの追加（上限越え） | 既設仮想マシンに新たにストレージボリュームを追加 | ストレージ ボリューム毎 | |
| H-SR02003 | | ストレージボリュームの削除 | 既設仮想マシンのストレージボリュームを削除 | ストレージ ボリューム毎 | ■月あたりの対応回数は、仮想マシンあたり1回です。それを越えた場合は上限越えサービスでの対応となります。 ■Standard/Lowストレージが対象です。 | |
| H-SR02004 | | ストレージボリュームの削除（上限越え） | 既設仮想マシンのストレージボリュームを削除 | ストレージ ボリューム毎 | | |
| H-SR02005 | | 仮想ディスク容量の拡張 | 既設仮想ディスクの拡張 | 仮想ディスク毎 | ■月あたりの対応回数は、仮想マシンあたり1回です。それを越えた場合は上限越えサービスでの対応となります。 ■Standard/Lowストレージが対象です。 | |
| H-SR02006 | | 仮想ディスク容量の拡張(上限越え) | 既設仮想ディスクの拡張 | 仮想ディスク毎 | | |
| H-SR02007 | | 仮想ディスク容量の縮小1 | ストレージボリュームの付け替えによる既設仮想ディスクの縮小（別のストレージボリュームへの移送によるサイズ縮小） | 仮想ディスク毎 | ■データ移行作業自体はお客様の作業です。 ■5時間以内にデータコピーが完了することが条件です。時間内に収まらない場合は追加個別見積りが必要です。 ■Standard/Lowストレージが対象です。 | |
| H-SR02008 | | 仮想ディスク容量の縮小2 | コンバータによる既設仮想ディスクの縮小 | 仮想マシン毎 | ■Standard/Lowストレージが対象です。 | |
| H-SR02009 | | ストレージクラスの変更 | 既設仮想ストレージのクラス変更 | ストレージ ボリューム毎 | ■Standard/Lowストレージが対象です。 | |
| H-SR02020 | | ストレージデータ消去レポートサービス | 仮想マシンの削除時に、該当仮想マシンにマウントされているストレージボリュームのデータ消去レポートサービス | ストレージ ボリューム毎 | ■仮想マシンの削除時のオプションです。 ■該当する仮想マシンにマウントされている全ての仮想ドライブのデータを消去し、作業レポートを提供します。マウントされているボリューム数で課金されます。 | |
| バックアップ関連の 依頼対応サービス | H-SR03101 | スナップショットバックアップ追加 | スナップショットバックアップの追加 | ストレージ ボリューム毎 | ■対象はStandard/Lowストレージ。バックアップ世代数の指定可 | |
| | H-SR03102 | 物理コピーバックアップ追加 | 物理コピーバックアップの追加 | ストレージ ボリューム毎 | ■対象はStandard/Lowストレージ。バックアップ世代数の指定可 | |
| | H-SR03103 | スナップショットバックアップ削除 | スナップショットバックアップの世代またはバックアップの削除 | ストレージ ボリューム毎 | ■対象はStandard/Lowストレージ。 ■バックアップ世代の削除またはバックアップの削除。 | |
| | H-SR03104 | 物理コピーバックアップ削除 | 物理コピーバックアップの世代またはバックアップの削除 | ストレージ ボリューム毎 | ■対象はStandard/Lowストレージ。 ■バックアップ世代の削除またはバックアップの削除。 | |
| | H-SR03201 | スナップショットバックアップ時間帯変更 | スナップショットバックアップの実行時間帯の変更 | 仮想マシン毎 | ■対象はStandard/Lowストレージ。 ■月あたりの対応回数は、1回です。それを越えた場合は上限越えサービスでの対応となります。 | |
| | H-SR03202 | スナップショットバックアップ時間帯変更（上限越え） | スナップショットバックアップの実行時間帯の変更 | 仮想マシン毎 | ■対象はStandard/Lowストレージ。 | |
| | H-SR03203 | 物理コピーバックアップ時間帯変更 | 物理コピーバックアップの実行時間帯の変更 | 仮想マシン毎 | ■対象はStandard/Lowストレージ。 ■月あたりの対応回数は、1回です。それを越えた場合は上限越えサービスでの対応となります。 | |
| | H-SR03204 | 物理コピーバックアップ時間帯変更（上限越え） | 物理コピーバックアップの実行時間帯の変更 | 仮想マシン毎 | ■対象はStandard/Lowストレージ。 | |
| | H-SR03301 | スナップショットバックアップのリストア（仮想マシン単位） | スナップショットバックアップから仮想マシンのリストア | 仮想マシン毎 | | |
| | H-SR03302 | スナップショットバックアップのリストア（ファイル単位） | スナップショットバックアップからファイル毎のリストア | 仮想マシン毎 | | |
| H-SR03303 | 物理コピーバックアップのリストア | 物理コピーバックアップから仮想マシンのリストア | 仮想マシン毎 | | | |
| ネットワーク関連の 依頼対応サービス | H-NW01001 | 物理ポート追加/削除/変更 | 標準のポート提供に加え、10Gbps正副回線を追加提供および削除/変更。VLAN変更も含む。 | 追加物理ポート 毎 | ■1契約あたり標準物理ポートを含め、4つまで利用できます。 | |
| | H-NW02001 | 仮想NIC変更 | 仮想NICの設定変更 | 仮想マシン毎 | ■1仮想マシンあたり4つまで利用できます。 | |
| | H-NW03001 | 負分散装置設定 | 負分散装置の設定・変更・削除 | 負分散装置毎 | ■個別にご相談ください | |

| (3) 監視設定 ・通報サービス | サービス コード | サービス名 | 内容 | 課金単位 | 注意事項 |
|---------------------|-------------|--------------------|------------------------------------|-----------------|---|
| 監視設定変更 | M-001001 | 監視項目の追加 | センター共通の監視システムによる監視項目の追加。各カテゴリを参照 | 仮想マシン・ 監視項目毎 | ■マシン1台あたりの監視の上限値は以下の通りです。 ・イベントログ：監視対象イベントログは、指定されたソースもしくは指定されたイベントID5個まで。 ■監視の内容については、「監視項目分類」を参照してください。 |
| | M-001002 | 監視項目の設定変更・削除 | センター共通の監視システムによる監視項目の変更・削除 | 仮想マシン・ 監視項目毎 | ■対象仮想マシンの削除時は、監視は自動的に削除（無償）されます。 |
| | M-001003 | 監視項目の設定変更・削除（上限越え） | センター共通の監視システムによる監視項目の変更・削除(上限越え) | 仮想マシン・ 監視項目毎 | ■仮想マシン1台あたり月1回の変更・削除が上限です。 |
| 監視停止・再開 | M-002001 | 監視一時停止・監視再開 | センター共通監視システムの抑制・再開 | 仮想マシン毎 | |
| 標準通報設定 | M-003001 | 障害通知先メールアドレスの変更 | センター共通監視システムの障害通知先メールアドレスの追加/変更/削除 | 障害通知先毎 | |
| 標準障害対応 | M-004001 | 障害対応(基本) | 仮想マシンの電源OFF/ON | 仮想マシン毎 | |
| | M-004002 | 障害対応(バックアップ保留/解除) | バックアップジョブの保留/解除 | 仮想マシン毎 | |

| カテゴリ | センター共通の監視システム | 対象 | 備考 |
|-----------|--|---|----|
| 可用性監視（応答） | 可用性監視（応答） 各サービスのポートにTCP接続が可能かどうかを監視 | 仮想マシンのIPアドレスに対する監視 ping、top、http、httpsの監視対象ポート1個 | |

2. 標準依頼作業メニュー

| | | | |
|------------|---|--|---------------------------|
| 可用性監視 (状態) | プロセスの稼働、Windowsサービスの稼働、Windowsイベントログ、テキストログ、SSL証明書の有効期限、システム再起動などの監視。 | <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス：監視対象プロセスは5個 ・Windowsサービス：監視対象サービスは5個 ・イベントログ (System/Application)：監視対象イベントログは、指定されたソースもしくは指定されたイベントIDを5個 ・SSL証明書期限：監視対象SSL証明1個 | ■設定変更に関わるOS再起動には上限はありません。 |
| キャパシティ監視 | CPU、メモリ、スワップ容量、ディスクの空き容量やロードアベレージを監視 | <ul style="list-style-type: none"> リソース稼働：CPU、メモリ キャパシティ：スワップ容量、ディスクの空き容量、ロードアベレージ | |
| セキュリティ監視 | セキュリティイベント、セキュリティログの監視 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントログ (Security)：監視対象イベントログは、指定されたソースもしくは指定されたイベントIDを5個 ・テキストログ (/var/log/secure)：監視対象のテキストログは、「/var/log/secure」の1ファイル。1ファイルあたりの検知するキーワードは5個標準外対応となります。 | 個別にご相談ください |

※1 各カテゴリ内(セキュリティ監視を除く)で標準監視として5件選択が可能です。
 ※2 アラートメールを送る閾値を併せて指定してください

3. オプションサービスメニュー

| カテゴリ | 名称 | サービスコード | サービス名 | 内容 | 課金単位 | 注意事項 | |
|-------------------------------------|----------------------------|--|---|---|---|---|---|
| USiZE DRオプション | DRオプション基本サービス | 0-DR01001 | DR基本サービス (DR Base Service) | DR時 別窓口設置、メニュー (依頼) 受付 DRインスタンス切替対応 DRサイトでの仮想マシン電源Onまで対応可能 | 環境毎 | | |
| | DRオプションインフラ資源提供サービス | 0-DR02001 | DR仮想マシン予約サービス (DR Reserved Instance VM) | DRサイト側で保護対象仮想マシンを立ち上げるための権利 (リソース予約料) | 仮想マシン毎 | ■本番サイトVMの半額です。 | |
| | | 0-DR02002 | DRストレージ提供サービス (DR Storage) | DRサイト側で保護対象仮想マシンのストレージを提供 メインサイト側の保護対象仮想マシンの割当容量と同容量必要 ストレージ種別はLowストレージ | 10GB毎 | | |
| | | 0-DR02003 | DRリモートコピーサービス (DR Remote Copy) | 保護対象仮想マシンのストレージをDRサイトへ同期 DRストレージ提供サービスと同容量の利用が必要 | 10GB毎 | ■データ更新率が10%を超える場合でRPO2時間を守る場合は別途費用を頂く場合がございます。 ■課金上限は最大20,000GBまでとし以降70,000GBまでは定額となります。 ■本サービスでの対応上限は70,000GBまでとなります。 | |
| | DRオプション運用サービス | 0-DR03001 | DR化、非DR化 (DR Enable/Disable) 作業 | DR対象化、または非対象化する変更作業 | 仮想マシン毎 | ■DR監視設定/解除、ストレージ初期同期/解除 など | |
| | | 0-DR03002 | DRリハーサル対応 (DR Rehearsal) | DRリハーサルを実施 (リハーサル起動～停止) | リハーサル毎 | | |
| | | 0-DR03003 | DRアクセスゲートウェイ (DR Access Gateway) | DRリハーサル時にリハーサル環境へアクセスする為の踏み台マシン | 仮想マシン毎 | ■通常時:「DR予約仮想マシン」と同額 (インスタンスを保持する場合) ■リハーサル時:「仮想マシン提供」と同額 (1か月課金) | |
| | | 0-DR03004 | DR切替時刻別対応 (DR Operation) | お客様要件による個別のオペレーションを実施 | 作業一回 | ■ (例) サーバ起動順序・時間などの指定、及びコンソール操作 (ログイン後手順実施) など | |
| | | 0-DR03005 | 従量OSライセンス提供 (Windows /RHEL) | 保護対象仮想マシンのOSライセンス提供 | コピー先仮想マシン毎 | ■サーバ共有時は、「リハーサル実施月」と「DR発動後」ライセンス (リハーサルを実施しない場合は、DR発動時のみ) が必要です。 ■料金は「従量制オペレーティングシステムライセンス」と同額です。 | |
| | USiZE Connect Option | USiZE Connect for netXDC提供 | 0-UC01-5M(-C) | USiZE Connect for netXDC 5M(確保なし) | ベストエフォートで5Mまで利用可能 | 回線毎 | ■USiZEシェアードモデル(netXDC)とお客様閉域網をダイレクトに接続するサービスです。 ■登録書式025参照 |
| 0-UC01-10M(-C) | | | USiZE Connect for netXDC 10M(1M確保) | ベストエフォートで10Mまで利用可能、1Mの帯域を確保 | 回線毎 | | |
| 0-UC01-100M(-C) | | | USiZE Connect for netXDC 100M(10M確保) | ベストエフォートで100Mまで利用可能、10Mの帯域を確保 | 回線毎 | | |
| 0-UC01-300M(-C) | | | USiZE Connect for netXDC 300M(30M確保) | ベストエフォートで300Mまで利用可能、30Mの帯域を確保 | 回線毎 | | |
| 0-UC01-C | | | USiZE Connect for netXDC 帯域変更作業 | 既設回線の帯域変更作業 | 回線毎 | | |
| 0-UC01-001 | | | USiZE Connect for netXDC 仮想ルータ (基本スペック: 1Core 1GB) | 仮想ルータ導入時の初期費用。インストール、コンフィグ作成、疎通確認を実施。USiZE Connect for netXDCの標準ルータ、設定変更、障害対応などの運用付き。 | 仮想ルータ毎 | ■Static、OSPFでのルーティングに対応、インタフェースはLAN側/WAN側各1ポート提供します。 | |
| 0-UC01-002 | | | USiZE Connect for netXDC 仮想ルータ (カスタマイズ) | 上記を超えるスペック、サービス内容変更を伴うカスタマイズ | 仮想ルータ毎 | | |
| 0-UC01-003 | | | USiZE Connect for netXDC 仮想ルータ 変更作業 | 仮想ルータのルーティング設定変更作業 | 仮想ルータ毎 | | |
| 0-UC01-004 | | | USiZE Connect for netXDC 仮想ルータ カスタマイズ作業 | 上記以外の変更作業 (Firewall機能、標準以外のルーティング機能等) | 仮想ルータ毎 | | |
| 0-UC01-010 | | | USiZE Connect for netXDC 物理接続ポート | 物理ルータと接続する際のポート提供 | セグメント毎 | | |
| USiZE Connect for AWS提供 | | 0-UC02-10M(-C) | USiZE Connect for AWS 10M | ベストエフォートで10Mまで利用可能 | 回線毎 | ■USiZEパブリッククラウドモデル(AWS)とお客様閉域網をダイレクトに接続するサービスです。 ■登録書式025参照 | |
| | | 0-UC02-20M(-C) | USiZE Connect for AWS 20M | ベストエフォートで20Mまで利用可能 | 回線毎 | | |
| | | 0-UC02-30M(-C) | USiZE Connect for AWS 30M | ベストエフォートで30Mまで利用可能 | 回線毎 | | |
| | | 0-UC02-40M(-C) | USiZE Connect for AWS 40M | ベストエフォートで40Mまで利用可能 | 回線毎 | | |
| | | 0-UC02-50M(-C) | USiZE Connect for AWS 50M | ベストエフォートで50Mまで利用可能 | 回線毎 | | |
| | | 0-UC02-60M(-C) | USiZE Connect for AWS 60M | ベストエフォートで60Mまで利用可能 | 回線毎 | | |
| | | 0-UC02-70M(-C) | USiZE Connect for AWS 70M | ベストエフォートで70Mまで利用可能 | 回線毎 | | |
| | | 0-UC02-80M(-C) | USiZE Connect for AWS 80M | ベストエフォートで80Mまで利用可能 | 回線毎 | | |
| | | 0-UC02-90M(-C) | USiZE Connect for AWS 90M | ベストエフォートで90Mまで利用可能 | 回線毎 | | |
| | | 0-UC02-100M(-C) | USiZE Connect for AWS 100M | ベストエフォートで100Mまで利用可能 | 回線毎 | | |
| USiZE Connect for Microsoft Azure提供 | 0-UC03-10M(-C) | USiZE Connect for Microsoft Azure 10M | ベストエフォートで10Mまで利用可能 | 回線毎 | ■USiZEパブリッククラウドモデル(Microsoft Azure)とお客様閉域網をダイレクトに接続するサービスです。 ■Microsoft社のExpressRouteを利用します | | |
| | 0-UC03-30M(-C) | USiZE Connect for Microsoft Azure 30M | ベストエフォートで30Mまで利用可能 | 回線毎 | | | |
| | 0-UC03-50M(-C) | USiZE Connect for Microsoft Azure 50M | ベストエフォートで50Mまで利用可能 | 回線毎 | | | |
| | 0-UC03-100M(-C) | USiZE Connect for Microsoft Azure 100M | ベストエフォートで100Mまで利用可能 | 回線毎 | | | |
| | 0-UC03-200M(-C) | USiZE Connect for Microsoft Azure 200M | ベストエフォートで200Mまで利用可能 | 回線毎 | | | |
| | 0-UC03-500M(-C) | USiZE Connect for Microsoft Azure 500M | ベストエフォートで500Mまで利用可能 | 回線毎 | | | |
| | 0-UC03-1G(-C) | USiZE Connect for Microsoft Azure 1000M | ベストエフォートで1000Mまで利用可能 | 回線毎 | | | |
| | 0-UC03-C | USiZE Connect for Microsoft Azure 帯域変更作業 | 既設回線の帯域変更作業 | 回線毎 | | | |
| | USiZE Connect for Mobile提供 | 0-UC06001(-C) | USiZE Connect for Mobile 基本料金 | お客様所有のPCやモバイルデバイスから、お客様閉域網へのリモートアクセスへの接続環境利用料 | | 回線毎 | 追加ID毎 |
| | | 0-UC06002 | USiZE Connect for Mobile IDの最低利用料金 | 最低契約数 (15 ID分) の利用料 | | 契約毎 | |
| 0-UC06003 | | USiZE Connect for Mobile 1IDあたりの料金 | 16 ID以上の追加 (1IDあたりの) 費用 | | | | |
| USiZE Job Centric Option | ジョブ管理マネージャ提供 | 0-JC01001 | ジョブスケジュール管理マネージャ (ビューコンソール含む) 提供 | ジョブスケジュール管理マネージャの初期インストールの実施。使用権、保守、仮想マシンを提供 | ジョブ管理サーバ毎 | | |
| | ジョブ管理エージェント提供 | 0-JC02001 | 仮想サーバ用ジョブスケジュール管理エージェント提供 (1~2コア) | 仮想サーバ用のジョブスケジュール管理エージェントの初期インストールの実施。使用権と保守を提供。 | ジョブ実行サーバ毎 | ■最小の契約構成は、ジョブスケジュール管理マネージャが1サーバ、仮想サーバ用ジョブスケジュール管理エージェントが1サーバからです。 ■ジョブスケジュール管理マネージャには仮想マシン (CPU 2Core、Mem 4GB、Disk 100GB) とOS (Windows Server 2008R2) の費用を含みます。 ■各サービスにはそれぞれ初期インストール、ライセンス、保守を含みます。 ■JOB Centricの運用サービスは別途ご相談ください。 | |
| | | 0-JC02002 | 仮想サーバ用ジョブスケジュール管理エージェント提供 (3~4コア) | 仮想サーバ用のジョブスケジュール管理エージェントの初期インストールの実施。使用権と保守を提供。 | ジョブ実行サーバ毎 | | |
| | | 0-JC02003 | 仮想サーバ用ジョブスケジュール管理エージェント提供 (5~6コア) | 仮想サーバ用のジョブスケジュール管理エージェントの初期インストールの実施。使用権と保守を提供。 | ジョブ実行サーバ毎 | | |
| | | 0-JC02004 | 仮想サーバ用ジョブスケジュール管理エージェント提供 (7~8コア) | 仮想サーバ用のジョブスケジュール管理エージェントの初期インストールの実施。使用権と保守を提供。 | ジョブ実行サーバ毎 | | |
| ERP連携マネージャ提供 | 0-JC03001 | SAP-ERP連携マネージャ提供 (1サーバ目) | SAP ERP連携マネージャの初期インストールの実施。使用権と保守を提供。 | ERP連携管理サーバ毎 | | | |
| | 0-JC03002 | SAP-ERP連携マネージャ提供 (2サーバ目以降) | SAP ERP連携マネージャの初期インストールの実施。使用権と保守を提供。 | ERP連携管理サーバ毎 | | | |
| USiZE Security Option | ネットワーク不正侵入検知・防御 (IDS/IPS) | S-SE01001 | TrendMicro Deep Security Advance | TrendMicro社のホスト型IPS、ウイルスチェックソフト「Deep Security Advance」ライセンス | 仮想マシン毎 | ■ライセンスを月額従量で提供します。 ■Q&A受付 (受付時間: 平日9:00~17:00のみ、回答はベストエフォート) ■インストール・設定・運用はお客様にてお願いします。 (インストール・設定は別途個別見積りも可能です) ■セキュリティ運用サービスについては、4. 関連サービスをご覧ください。 | |
| | ウイルス対策 | S-SE02001 | ServerProtect for Windows | TrendMicro社のWindowsサーバ向けウイルス対策ソフト「ServerProtect for Windows」ライセンス | 仮想マシン毎 | | |
| | | S-SE02002 | ServerProtect for Linux | TrendMicro社のLinuxサーバ向けウイルス対策ソフト「ServerProtect for Linux」ライセンス | 仮想マシン毎 | | |
| | WEBアプリケーション不正侵入検知・防御 (WAF) | S-SE03010 | SaaS型WAFサービス「Scutum」 | セキユアスカイテクノロジ社のSaaS型WAFサービス「Scutum」 | FQDN数毎 | | ■サービス詳細については、以下参照ください。 https://www.scutum.jp/ |
| | WEBアプリケーション脆弱性診断 | S-SE03020 | SQLインジェクションなど、お客様Webアプリケーションに潜む脆弱性の発見や、その対策方法をご提案する診断サービス | Webアプリケーション診断サービス | Webアプリケーション毎 | | ■サービス詳細については、以下参照ください。 http://www.scsk.jp/sp/sys/service/securityassessment/index.html |
| セキュリティ監視サービス (SOCサービス) | S-SE03030 | セキュリティ監視センターで24時間365日体制のセキュリティ監視サービス | SOCサービス | 対象環境毎 | ■サービス詳細については、以下参照ください。 http://www.scsk.jp/sp/sys/service/securityassessment/index.html | | |
| ArcServe 従量制バックアップサービス | Arcserve | S-BK01001 | Arcserve Backup Base Plus Client Agent for Windows | バックアップソフトウェア従量制ライセンス | 仮想マシン毎 | ■ライセンスを月額従量で提供します。 ■Q&A受付 (受付時間: 平日9:00~17:00のみ、回答はベストエフォート) ■インストール・設定・運用はお客様にてお願いします。 (インストール・設定は別途個別見積りも可能です) ■各メニューに含まれる機能、オプションの詳細はサービス説明資料を参照してください。 | |
| | | S-BK01002 | Arcserve Backup Base Plus VM Agent Bundle | バックアップソフトウェア従量制ライセンス | 仮想マシン毎 | | |
| | | S-BK01003 | Arcserve Backup File Server Suite | バックアップソフトウェア従量制ライセンス | 仮想マシン毎 | | |
| | | S-BK01004 | Arcserve Backup Mail App DB Suite | バックアップソフトウェア従量制ライセンス | 仮想マシン毎 | | |
| | | S-BK01005 | Arcserve Per-Server UDP Standard Edition | バックアップソフトウェア従量制ライセンス | 仮想マシン毎 | | |
| | | S-BK01006 | Arcserve Per-Server UDP Advanced Edition | バックアップソフトウェア従量制ライセンス | 仮想マシン毎 | | |
| | | S-BK01007 | Arcserve Replication for Standard OS for File Server | バックアップソフトウェア従量制ライセンス | 仮想マシン毎 | | |
| | | S-BK01008 | Arcserve Replication for Enterprise OS | バックアップソフトウェア従量制ライセンス | 仮想マシン毎 | | |
| | | S-BK01009 | Arcserve High Availability for Enterprise OS | バックアップソフトウェア従量制ライセンス | 仮想マシン毎 | | |

| | | | | | | |
|-------------------|------------------------------|---------------|-----------------------------|--|----------------|---|
| ライセンス管理サービス | ILMT監査レポート提供 | S-IL01001(-C) | ILMT監査レポート提供 | ILMT監査レポートを提供(月一回) ※ILMT監査レポートはIBMソフトウェアのサブキャパシティライセンス利用の前提 | レポート毎 | <ul style="list-style-type: none"> ILMT監査レポートをご利用頂くためには、事前に対象となる仮想マシンへのILMTエージェントの導入と当社で管理するILMTサーバへの登録作業(S-IL01002)が必要です。 対象サーバの台数制限および月額変動はありません。 ILMTエージェントの導入(インストールおよびスタティックルート設定)はお客様にてお願いします。 (S-IL01003にて弊社で対応することも可能です。導入にあたりID、パスワードの借用が必要です。) |
| | | S-IL01002 | ILMT監査レポート対象サーバ追加作業 | ILMTサーバに対して監査対象サーバの登録とレポート設定を実施 | 仮想マシン毎 | |
| | | S-IL01003 | ILMTエージェント導入作業 | USiZE上のゲストOSに対してILMTエージェントの導入とサーバとの通信に必要なスタティックルート設定を実施 ※本メニューで実施可能な対象OSはUSiZE仕様書に記載のOSバージョンのみ | 仮想マシン毎 | |
| セキュリティパッチ配信サービス | Windows更新プログラム配信 | S-WS01001 | WSUS共有サービス(基本契約) | USiZE管理基盤上に構築している共有WSUSサーバを利用した更新プログラムの配信サービス | 20VMまで | <ul style="list-style-type: none"> 本サービスの配信対象はUSiZE現行環境上の仮想マシンのみです。 ※USiZE標準提供のUSiZE管理NIC及び顧客別仮想ルータの導入が前提です。 USiZE管理NICを介して更新プログラムを配信するためインターネット回線をお持ちでないお客様においてもご利用頂くことが可能です。 WSUSクライアント(仮想マシン)側の設定はお客様にて実施頂きます。 更新プログラムの製品/分類はサービス側であらかじめ定義しています。 更新プログラムのダウンロード/インストールはお客様責任となります。 |
| | | S-WS01002 | WSUS共有サービス環境設定 | WSUSを利用する為のWSUSサーバ側設定、初期ネットワーク設定。初期20VMまでの設定を含む。 | 契約毎 | |
| | | S-WS01003 | WSUS共有サービス(対象サーバ追加) | 配信対象サーバが21VM以上の追加料金(10VMごと) | 21VM以上の10VM毎単位 | |
| 運用サービス | 監視・通報個別対応オプション | 0-001001 | お客様受付窓口設置(メール、メール+電話) | メールと電話での作業依頼と作業依頼キャンセル、サービス問合せ、障害問合せ。電話通報サービスなど | ユーザ契約毎 | <ul style="list-style-type: none"> 個別運用サービスを行うためのサービスです。 別途、マネージメントサービス契約が必要です。 |
| | | 0-002001 | 障害対応(個別) | リストア作業、お客様作成の手順に従った代行対応。障害対応手順の管理。 | 仮想マシン毎 | |
| | | 0-003001 | 個別監視(フルマネージドサービス) | アプリケーション運用、個別システム運用監視等に対する運用サービス。ユーザ個別のサービス提供を行う。サービスマネージャによるサービス管理を提供 | ユーザ契約毎 | |
| | Job運用管理個別対応 | 0-JCS0010 | ジョブ実行結果の監視通知(メール+電話) | センター共通の監視システムによるジョブの実行結果監視、電子メールと電話での通報 | ジョブ管理サーバ毎 | |
| | | 0-JCS0020 | ジョブスケジュール管理ツールの監視通知(メール+電話) | センター共通の監視システムによるジョブ管理ツールの監視、電子メールと電話での通報 | ジョブ管理サーバ毎 | |
| | | 0-JCS0030 | ジョブ実行の障害対応(個別) | ジョブ実行の障害発生時、人が状況を判断した上での対応。お客様作成の手順に従った障害の代行対応。 | ジョブ管理サーバ毎 | |
| [New]セキュリティ監視サービス | [New]セキュリティ監視サービス(基本サービス) | 0-IPM-01(-C) | IPS監視-Lite | お客様ネットワークに不正侵入防御装置(IPS)を設置し、検出した不正アクセスを遮断します。分析により対象デバイスにおけるインシデントとして判断した場合、インシデントの重要度レベルに応じて、メール、電話にてエスカレーションを実施します。vFW-Lite(Virtual FW)の利用が前提です。 | サービス毎 | <ul style="list-style-type: none"> 10Mbps~30Mbpsまでのインターネット帯域の監視に対応 IPSはインライン構成での配置となり、冗長構成で提供 システムマネジメントには以下項目を含む(詳細は仕様書参照) 稼働監視:死活監視(5分間隔) 保守/障害対応:平日10:00~17:00 監視ポリシー変更(監視抑制):4回/月 IPS OSバージョンアップ、パッチ適用:2回/年 セキュリティレポート報告(メール):1回/月 最低利用期間は1年となります。 |
| | | 0-IPM-02(-C) | IPS監視-Middle | お客様ネットワークに不正侵入防御装置(IPS)を設置し、検出した不正アクセスを遮断します。分析により対象デバイスにおけるインシデントとして判断した場合、インシデントの重要度レベルに応じて、メール、電話にてエスカレーションを実施します。vFW-Middle(Virtual FW)の利用が前提です。 | サービス毎 | |
| | | 0-IPM-03(-C) | IPS監視-High | お客様ネットワークに不正侵入防御装置(IPS)を設置し、検出した不正アクセスを遮断します。分析により対象デバイスにおけるインシデントとして判断した場合、インシデントの重要度レベルに応じて、メール、電話にてエスカレーションを実施します。vFW-High(Virtual FW)の利用が前提です。 | サービス毎 | |
| | [New]セキュリティ監視サービス(オプションサービス) | 0-IPQ-01(-C) | セキュリティレポートオンサイト報告 | 月次でオンサイトでの報告会を実施。 | サービス毎 | 報告日時は平日日中帯となり、事前に協議して決定します。 |
| | | 0-IPQ-10(-C) | アプライアンスアップグレード | 処理能力向上のためのアプライアンスのアップグレードを行う。 | サービス毎 | IPS監視-Lite,IPS監視-MiddleからIPS監視-Highへの変更が発生した際に本作業が必要です。 |
| | | 0-IPQ-20(-C) | 分析支援サービス | 発生したイベントが顧客環境においてどのようなインパクトを与えるのか、お客様の調査の支援を行う。 | サービス毎 | IPS監視-Lite,IPS監視-Middleは同等の性能の仮想マシンで提供しているため、IPS監視-LiteからIPS監視-Middleへの変更時には本作業は不要です。 |
| | | | | | | |

【注意事項】
 セキュリティ監視サービス
 ・本サービスの適用は、各メニューに該当するVirtual FWを利用されている環境であることが前提です。
 ・IPSの設計・構築は、適用する環境/セキュリティポリシーにより異なりますので、必ず初期導入作業として依頼をお願いします。(個別見積)
 ・セキュリティ監視サービスは、最低利用期間が一年間です。

| カテゴリ | 名称 | サービスコード | サービス名 | 内容 | 課金単位 | 注意事項 | | |
|----------------------------|--|------------------------|---|---|---|--|--|--|
| Virtual NW Service Option | Virtual FW (基本サービス) ※Internetバンドル | 0-VNB-01(-C) | vFW-Lite | Internet (10M専用、Global-IP /28) 仮想Firewall (50Mbpsスループット) システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | ■ヒヤリングシートの内容に基づき環境構築 ■システムマネジメントには以下項目を含む(詳細は仕様書参照) 稼働監視: 死活監視(5分間隔) 保守 / 障害対応: 24時間365日 システムオペレーション: 設定変更作業(平日9:00~17:00) 構成管理: 設定シートおよびConfig管理 トラフィック公開: 情報公開ページの提供 | | |
| | | 0-VNB-02(-C) | vFW-Middle | Internet (100M専用、Global-IP /28) 仮想Firewall (500Mbpsスループット) システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNB-03(-C) | vFW-High | Internet (1G専用、Global-IP /28) 仮想Firewall (1Gbpsスループット) システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | Virtual FW (オプションサービス) ※Internetバンドル | 0-VNB-OP01 | 帯域拡張: vFW-Lite (インターネット帯域を20Mへ帯域拡張) | vFW-LiteのInternet回線を20M専用へ帯域拡張 | サービス毎 | | <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> オプションサービスメニュー 2 は 東日本でのみ提供です。 </div> | |
| | | 0-VNB-OP02 | 帯域拡張: vFW-Lite (インターネット帯域を30Mへ帯域拡張) | vFW-LiteのInternet回線を30M専用へ帯域拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNB-OP03 | 帯域拡張: vFW-Middle (インターネット帯域を200Mへ帯域拡張) | vFW-MiddleのInternet回線を200M専用へ帯域拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNB-OP04 | 帯域拡張: vFW-Middle (インターネット帯域を300Mへ帯域拡張) | vFW-MiddleのInternet回線を300M専用へ帯域拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNB-OP05(-C) | Global-IP拡張: /27 (32 IP) へ拡張 | Global-IPのアドレスレンジを/27(32 IP)への拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNB-OP06(-C) | Global-IP拡張: /26 (64 IP) へ拡張 | Global-IPのアドレスレンジを/26(64 IP)への拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNB-OP07(-C) | Global-IP拡張: /25 (128 IP) へ拡張 | Global-IPのアドレスレンジを/25(128 IP)への拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNB-OP08(-C) | vFW冗長: vFW-Lite Cluster提供 | vFW-Liteの仮想Firewallをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNB-OP09(-C) | vFW冗長: vFW-Middle Cluster提供 | vFW-Middleの仮想Firewallをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNB-OP10(-C) | vFW冗長: vFW-High Cluster提供 | vFW-Highの仮想Firewallをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNB-OP11(-C) | Client VPN: vFWにVPN接続用設定の登録 | IP-Sec VPN用の接続用のアカウント 10ユーザ分を登録(メンテナンスなどのリモートアクセス用途) | アカウント毎(10単位) | | ■1アカウント=1VPN接続 ※1アカウントで複数同時接続は不可 | |
| | | 0-VNB-OP12(-C) | Client VPN: vFWにVPN接続用設定の追加 | 10ユーザアカウントで足りない場合、5ユーザ分を追加 | アカウント毎(5単位) | | ■5アカウント単位で追加可能、最大15アカウントまで追加可能 | |
| | | 0-VNB-C | 導入作業支援 | エンジニアによる通信要件定義、ヒヤリングシートの作成支援 | 対象環境毎 | | | |
| | Virtual FW(ubundle) (基本サービス) ※Internet含まず | 0-VNU-01(-C) | vFW-Lite(ubn) | 仮想Firewall (50Mbpsスループット) システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | ■ヒヤリングシートの内容に基づき環境構築 ■システムマネジメントには以下項目を含む(詳細は仕様書参照) 稼働監視: 死活監視(5分間隔) 保守 / 障害対応: 24時間365日 システムオペレーション: 設定変更作業(平日9:00~17:00) 構成管理: 設定シートおよびConfig管理 トラフィック公開: 情報公開ページの提供 | |
| | | 0-VNU-02(-C) | vFW-Middle(ubn) | 仮想Firewall (500Mbpsスループット) システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNU-03(-C) | vFW-High(ubn) | 仮想Firewall (1Gbpsスループット) システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | Virtual FW(ubundle) (オプションサービス) ※Internet含まず | 0-VNU-OP01(-C) | vFW冗長: vFW-Lite Cluster提供 | vFW-Liteの仮想Firewallをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNU-OP02(-C) | vFW冗長: vFW-Middle Cluster提供 | vFW-Middleの仮想Firewallをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNU-OP03(-C) | vFW冗長: vFW-High Cluster提供 | vFW-Highの仮想Firewallをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNU-OP10(-C) | Client VPN: vFWにVPN接続用設定の登録 | IP-Sec VPN用の接続用のアカウント 10ユーザ分を登録(メンテナンスなどのリモートアクセス用途) | サービス毎(10単位) | | | ■1アカウント=1VPN接続 ※1アカウントで複数同時接続は不可 |
| | | 0-VNU-OP11(-C) | Client VPN: vFWにVPN接続用設定の追加 | 10ユーザアカウントで足りない場合、5ユーザ分を追加 | サービス毎(5単位) | | | ■5アカウント単位で追加可能、最大15アカウントまで追加可能 |
| | | 0-VNU-C | 導入作業支援 | エンジニアによる通信要件定義、ヒヤリングシートの作成支援 | 対象環境毎 | | | |
| | Virtual LB (基本サービス) | 0-VNL-B10(-C) | vLB-basic [10Mbps] | 仮想ロードバランサー (10Mbpsスループット相当、L4バランシングのみ) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | ■システムマネジメントには以下項目を含む(詳細は仕様書参照) 稼働監視: 死活監視(5分間隔) 保守 / 障害対応: 24時間365日 システムオペレーション: 設定変更作業(平日9:00~17:00) 構成管理: 設定シートおよびConfig管理 |
| | | 0-VNL-B60(-C) | vLB-basic [60Mbps] | 仮想ロードバランサー (60Mbpsスループット相当、L4バランシングのみ) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNL-B100(-C) | vLB-basic [100Mbps] | 仮想ロードバランサー (100Mbpsスループット相当、L4バランシングのみ) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNL-S10(-C) | vLB-Standard [10Mbps] | 仮想ロードバランサー (10Mbpsスループット相当、L4、L7バランシング) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNL-S100(-C) | vLB-Standard [100Mbps] | 仮想ロードバランサー (100Mbpsスループット相当、L4、L7バランシング) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNL-S150(-C) | vLB-Standard [150Mbps] | 仮想ロードバランサー (150Mbpsスループット相当、L4、L7バランシング) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNL-S300(-C) | vLB-Standard [300Mbps] | 仮想ロードバランサー (300Mbpsスループット相当、L4、L7バランシング) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNL-S500(-C) | vLB-Standard [500Mbps] | 仮想ロードバランサー (500Mbpsスループット相当、L4、L7バランシング) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | | 0-VNL-S1G(-C) | vLB-Standard [1Gbps] | 仮想ロードバランサー (1Gbpsスループット相当、L4、L7バランシング) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | | Virtual LB (オプションサービス) | 0-VNL-OB10(-C) | vLB冗長: vLB-basic [10Mbps] | vLB-basic [10Mbps]の仮想ロードバランサーをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | | | |
| | 0-VNL-OB60(-C) | | vLB冗長: vLB-basic [60Mbps] | vLB-basic [60Mbps]の仮想ロードバランサーをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | 0-VNL-OB100(-C) | | vLB冗長: vLB-basic [100Mbps] | vLB-basic [100Mbps]の仮想ロードバランサーをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | 0-VNL-OS10(-C) | | vLB冗長: vLB-Standard [10Mbps] | vLB-Standard [10Mbps]の仮想ロードバランサーをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | 0-VNL-OS100(-C) | | vLB冗長: vLB-Standard [100Mbps] | vLB-Standard [100Mbps]の仮想ロードバランサーをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | 0-VNL-OS150(-C) | | vLB冗長: vLB-Standard [150Mbps] | vLB-Standard [150Mbps]の仮想ロードバランサーをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | 0-VNL-OS300(-C) | | vLB冗長: vLB-Standard [300Mbps] | vLB-Standard [300Mbps]の仮想ロードバランサーをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| | 0-VNL-OS500(-C) | | vLB冗長: vLB-Standard [500Mbps] | vLB-Standard [500Mbps]の仮想ロードバランサーをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | |
| 0-VNL-OS1G(-C) | vLB冗長: vLB-Standard [1Gbps] | | vLB-Standard [1Gbps]の仮想ロードバランサーをクラスタ構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | | |
| 0-VNL-SSL(-C) | 機能追加: SSL-Accelerator機能追加 | | HTTPS通信における暗号化/復号化処理を提供 | 証明書毎 | ■SSL証明書および中間証明書はお客様にて取得代行不可 vLB冗長を選択の場合、数量を2とする | | | |
| 0-VNL-C | 導入作業支援 | | エンジニアによる通信要件定義、ヒヤリングシートの作成支援 | 対象環境毎 | | | | |
| Virtual Router (基本サービス) | 0-VNR-01(-C) | | vRT-Lite | 仮想ルーター (最大100Mbpsスループット相当) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | ■システムマネジメントには以下項目を含む(詳細は仕様書参照) 稼働監視: 死活監視(5分間隔) 保守 / 障害対応: 24時間365日 (vRT-Liteは平日9:00~17:00) システムオペレーション: 設定変更作業(平日9:00~17:00) 構成管理: 設定シートおよびConfig管理 | | |
| | 0-VNR-02(-C) | | vRT-Middle | 仮想ルーター (最大500Mbpsスループット相当) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | |
| | 0-VNR-03(-C) | vRT-High | 仮想ルーター (最大1Gbpsスループット相当) + システムマネジメントのセット提供 | サービス毎 | | | | |
| Virtual Router (オプションサービス) | 0-VNR-OP1(-C) | vRT冗長: vRT-Lite | vRT-Liteの仮想ルーターをVRRP構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | | |
| | 0-VNR-OP2(-C) | vRT冗長: vRT-Middle | vRT-Middleの仮想ルーターをVRRP構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | | |
| | 0-VNR-OP3(-C) | vRT冗長: vRT-High | vRT-Highの仮想ルーターをVRRP構成(2台 Act-Stb)に拡張 | サービス毎 | | | | |
| | 0-VNR-C | 導入作業支援 | エンジニアによる通信要件定義、ヒヤリングシートの作成支援 | 対象環境毎 | | | | |

【注意事項】 Virtual NW Service Option

- 最低利用期間は特に定めのない限り、1ヶ月となります。
- 現在(2016年12月)は本ページ(オプションメニュー2)に掲載されている内容は、東日本でのみ提供となります。西日本での提供は、2017年4Qから予定しています
- ご利用にあたっては、Virtual NW Service利用申請書およびヒヤリングシートの記入をお願いします。
- いずれのサービスも初期費用にはヒヤリングシートに基づく初期設定のみが提供範囲となっています。ネットワーク設計(アドレス設計、ルーティング設計、通信フロー設計など)は提供範囲外です。
- 各種サービスには制限事項がありますので、ご利用前に必ず Virtual NW Service サービス仕様書 を参照ください。
- Virtual FW は Lite、Middle、Highの3タイプから選択可能です。
- Liteはインターネット回線を10Mbps(基本)、20Mbps、30Mbps(オプション)から、Middleは100Mbps(基本)、200Mbps、300Mbps(オプション)から選択可能です。
- Virtual FW(ubundle) は Lite、Middle、Highの3タイプから選択可能です。
- 本サービスには外部接続環境(インターネットやキャリア回線)は含まれていません。
- Virtual LBはbasic、Standardの2種類の中から必要なスループット性能から選択可能です。
- basicではL4バランシングのみ提供可能となっています。L7バランシング(Cookie情報を使ったセッション維持など)を実現する場合はStandardを選択ください。
- Virtual Routerは Lite、Middle、Highの3タイプから選択可能です。
- 本サービスには外部接続環境(インターネットやキャリア回線)は含まれていません。